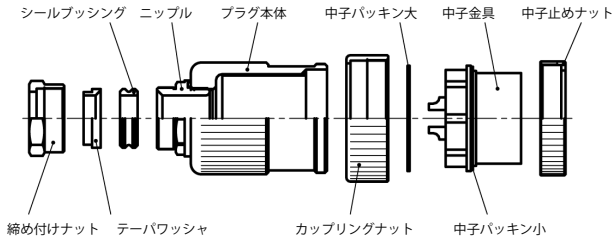


結線作業方法【はんだ】NT

※結線部に強い力が加わるような使い方は避けて下さい。
クランプナットを締め付けた際にシールブッシング内径部との密着性を損なわない構造のケーブルを選定して下さい。

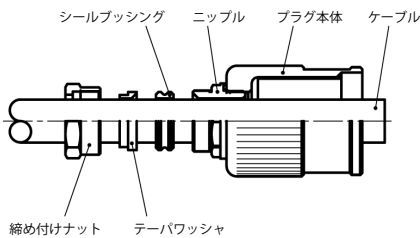
1. 構成図の通りコネクタを分解する。

- 注) ※ 中子パッキン小は、中子金具に接着されているので無理に剥がさないこと。
※ 中子止めナットは左ねじになっており、時計方向に回すと緩む。

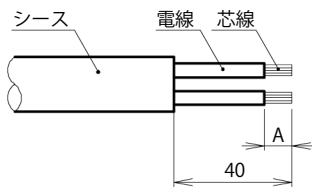


2. 分解した各部品を下図の順でケーブルに通す。

- 注) 各部品の順番、向きを間違えない様にする。



3. 使用ケーブルのシース及び電線を下の表の寸法で剥く。



サイズ・コンタクト数・形状		A (mm)	電線導体断面積 (mm ²)
504	-PF, -PM	10	8
5010	-LPF, -LPM	8	3.5
5012	-SPF, -SPM		2
5015			

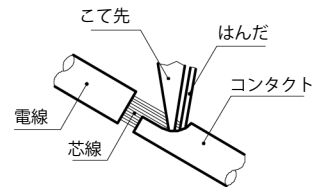
4. 線剥きを施した電線の芯線に予備はんだを施す。

- 注) ※ 予備はんだは、電線の被覆部まで行わないこと。
仕上がり状態は、コンタクトの孔径より小さく全体にムラのないこと。
※ 予備はんだを施したケーブル導体の仕上がり状態がコンタクトの孔径より大きくなる場合は、ケーブル導体がコンタクトに差し込めなくなるので予備はんだは行わないこと。

5. はんだづけを行う。

- 注) コンタクトへの過度の加熱はしないこと。
使用はんだごては下の表を参照。

- ① コンタクトの溶ダポットに芯線を差し込む。
- ② 図の様にはんだごてで加熱しながらはんだを流し込み、コンタクトと芯線の隙間を埋める。



使用はんだごて	電線導体断面積 (mm ²)	こて先温度 (°C)
30W	2	370 ~ 400
60W	3.5	
80 ~ 150W	8	

こて先温度は共晶はんだでの参考値

6. 下記の要領でコネクタを組み立てる。

- 注) パッキン類に汚れが付着すると防水性に影響が出ることもあるので、きれいな状態で作業すること。

- ① 中子パッキン大を装着した中子金具をプラグ本体にセットし、中子止めナットを締め付ける。
- ② ニップルをプラグ本体に締め付ける。
- ③ シールブッシング、テーパワッシャーとともに締め付けナットをニップルに締め付ける。

